

各部説明事業

インターネット地域情報発信事業

地域戦略部統計情報課

○事業概要

県ホームページ（HP）等の運営費

○経緯

H 7 HPの運用開始

H 2 5 全ページのデザインの統一化

○課題

- ・HPの外国語対応が3カ国語（英語、中国語、ポルトガル語）であり、多言語化を進める県が多い
- ・現在のHPが自動翻訳されない

○意見を求めたいこと

- ・他県に比べHPの多言語化が遅れており、日本語版のHPとデザインが統一化されていないため改修が必要であると考えるが、どのような言語に対応し、デザインをどのように対応すべきか、ご意見をいただきたい

- (例) ・県内在住の多いベトナム人や韓国人のため、ベトナム語・韓国語などを対応する
- ・現在のHPをそのまま自動翻訳できるようにする

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H 2 7	19,980	19,554
H 2 8	34,094	21,835
H 2 9	36,675	25,125
H 3 0	12,384	12,263
H 3 1	13,044	—

< 他都道府県のHP多言語化状況 >

導入言語数	都道府県名
20カ国語以上	石川県ほか4県
15～20カ国語	宮崎県
11～15カ国語	該当なし
5～10カ国語	富山県ほか18県
1～4カ国語	福井県ほか21県

< 近隣2県の多言語化状況 >

富山県 5カ国語（英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語）

石川県 103カ国語（英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語ほか）

< HPアクセス数 >

	H26	H27	H28	H29	H30
年間アクセス総数	755万	1,047万	1,091万	1,070万	1,124万

< 県内に在住している主な外国人数 > H30.12月現在 (人)

国名	人数
ブラジル	3,584
中国	2,988
ベトナム	2,292
韓国	2,118
フィリピン	1,546
インドネシア	306

(件)



県HPのトップページ



英語のHP

同じデザインのまま自動翻訳されない

○事業概要

働く女性の負担軽減を目的とした「共家事（トモカジ）」促進イベントを展開（H29～）

- ・ 県内の量販店や料理教室等と連携し、「夫婦で一緒に楽しみながら」家事を行うイベントを11月を中心に展開し、男性の主体的な家事参加を促進
- ・ 支給額：1企業・団体当たり10万円
- ・ 件数：10件（量販店・料理学校など）

【参考】福井県の家事・育児時間（有業者の週平均）*H28社会生活基本調査（総務省）
女性：2時間44分 男性：20分 男女差：2時間24分

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H29	2,629	1,229
H30	2,663	1,620
R1	*1,042 (国庫521)	—

*R1は「家事代行サービス導入奨励金」見直しによる予算額を減

○経緯

- ・ 男性が家事に興味を持てるようクイズ形式の筆記試験や実技試験による「家事チャレンジ検定」の実施（H24～26）
- ・ 企業の福利厚生制度としての家事代行サービス導入奨励金（H29～30）

○課題

現在、男性の家事参加促進を目的としたイベントは期間限定の啓発的なものとなっており、男性の家事参加を定着させる継続的な方策が必要である

○意見を求めたいこと

男性の家事参加を定着させる継続的な方法について、ご意見をいただきたい

例 従来の促進イベントに加え、定期的な共家事イベントの実施やのぼり旗の設置、家事分担チェックシート配布など、通年で普及活動を行う県内量販店を「共家事促進店（仮）」として登録し、県内全域で共家事を促進

○30年度促進イベント(一部)

- ・ 料理教室において、共家事Cooking講座を開催
夫婦やカップルで参加するクッキング講座
[内容] 時短もできるおいしい季節料理を夫婦で調理
- ・ 食品スーパーにおいて、夫婦での来店者に共家事グッズをプレゼント
夫婦・カップルでの買い物を促し、共家事のきっかけづくりを行う
[内容] 夫婦で来店した客に、掃除用品プレゼントと家事分担見える化シート配布

現状データ

	H29	H30	R1	合計
共家事イベント実施企業・団体数	5	10	10 (予定)	25
共家事イベント参加者数（延べ人数）	1,438	11,490	—	12,928



県外若者へのふくい体験プログラム提供事業

地域戦略部県民活躍課

○事業概要

福井県との継続的なつながりを持つ若者を増やすことで将来的な福井県への移住のきっかけをつくるため、都市部の大学生等を対象に、市町が地域資源を生かして実施する体験プログラム等に対する支援を実施

実施主体：市町

補助率：補助率 1 / 2

補助上限：継続来県プログラム 1,000千円

UIターン体験プログラム 150千円

○課題

- ・参加した若者はプログラム体験を通して、滞在した地域に愛着をもつが、短期的には成果が表れにくく、移住までには継続的な取組みが必要である
- ・都市部から招聘するための市町の負担（交通費や滞在費、研究費および受入地域の準備・調整作業）が継続的に必要である

○意見を求めたいこと

Iターンの実現に至るためには、学生に体験的に福井に来てもらうだけでは難しい。県外の学生と地域をつなぎ、学生の自主的な地域活動を応援するキーパーソンが必要である。

また、学生が普段の活動拠点と福井県を行ったり来たりしながら関わりを深めていく必要があると考えるが、今後の事業の在り方について、ご意見をいただきたい

現状データ

	H30	R1	合計
採択数（採択枠）	5(6)	5(6)	10(12)
交付額（千円）	2,069	1,717 (見込)	3,786
参加学生数	107	90 (見込)	197

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H30	2,600 (国庫1,300)	2,069 (国庫767)
R1	2,600 (国庫1,300)	—

〔H30若狭町の例〕

地域住民とともに賑わいづくりイベントの企画・運営、地域資源の活用方策の検討・提言

参加学生：24人



≪6～10月≫ イベント企画運営

〔H30おおい町の例〕

町の観光および移住PRのパンフレット等広報素材を学生視点で取材・制作

参加学生：13人



≪7～9月≫ 関係者打合・ヒアリング



≪11～2月≫ 特産品生産体験



≪10～1月≫ 取材・撮影



≪3月≫ 報告・提言



≪3月≫ パンプ完成報告・発表

Uターン学生就職活動応援事業

交流文化部定住交流課

○事業概要

- ①県内で開催する合同企業説明会（6月）、合同企業面接会（3月）へ参加する県外の新卒予定者を対象にUターンバスの運行
（名古屋→福井、新大阪→京都→福井）
- ②県内開催の合同企業説明会等に参加する交通費を補助（※）
補助額 1/2（最大14千円）
（※）Uターンバス利用者を除く

○経緯

- H28 交通費助成を開始
- R元 東京便を廃止、大阪便・京都便を統合

○課題

Uターンバスの利用率が低い（H30 Uターンバス利用対象者1,823人）

○意見を求めたいこと

6月補正において個別の交通費補助を拡充しており、Uターンバスについては廃止の方向で検討しているが、ご意見をいただきたい

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H27	1,692	1,692
H28	7,398	4,989
H29	7,564	4,771
H30	4,768	4,601
H31	3,910	—

Uターンバスおよび交通費補助の利用実績

		H27	H28	H29	H30	合計
Uターンバス	利用者数 (人)	90	96	59	66	311
	補助額 (千円)	—	202	170	534	906



合同企業説明会の様子



「ふるさとの日」記念事業

交流文化部定住交流課

○事業概要

置県の日である2月7日の「ふるさとの日」を記念して、県民のふるさとに関する理解と関心を深める行事を開催（S57～）

○経緯

S57 ふるさとの日に関する条例を制定

○課題

「ふるさとの日」として、県内各地で様々な行事が開催されており、当該記念事業の内容を検討する必要がある

○意見を求めたいこと

記念事業は各分野の表彰式を集約し、顕彰行事として充実させ、イベントは県内各地の行事を「ふるさとの日」関連事業として位置付けて実施することについて、ご意見をいただきたい



H30ふるさとの日記念行事の様子

「ふるさとの日」記念行事開催状況

年度	表彰	講演	演目	参加人数
26	福井県科学学術大賞 野の花文化賞	バックンマクンによるお笑いコント	「女子の本音で語る北陸は幸せ？」 随筆家 酒井順子	300
27	福井県科学学術大賞 福井ふるさと企業	「幸福日本一に至る福井のあゆみ」 澤登 翠（活動弁士）	事前解説 木村 亮（福井大学教授）	250
28	福井県科学学術大賞 福井ふるさと企業 野の花文化賞	「コメと和食の文化史～コメと歩んできた日本人～」 原田信男（国士舘大学教授）	ふるさと落語 瓢家萬月 葵亭真月（アマチュア落語家）	300
29 ※大雪のため中止	福井県科学学術大賞 福井ふるさと企業	「福井から世界へ。アスリートの挑戦」 伊東 浩司（甲南大学教授） 高野 進（東海大学教授） 高野 香織	福井商業高校JETSとはびりゅうによる 国体・障スポ応援パフォーマンス	—
30	福井県科学学術大賞 福井ふるさと企業 野の花文化賞	「面白い福井、忘れていた福井、いちばんの福井 ～ふるさと福井のさらなる発展に向けて～」 山根一眞（国体・障スポ式典総合プロデューサー）	国体関係表彰 福井商業高校JETSとはびりゅうステージ	500

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H27	707	707
H28	633	633
H29	1,269	336
H30	1,330	1,057
H31	1,197	—

観光情報広報関連事業

○事業概要

- ・「越前・若狭観光情報マップ」の作成
- ・(公社)福井県観光連盟のホームページ「ふくいドットコム」の運営

○経緯

「越前・若狭観光情報マップ」H26.3月作成、以降毎年掲載内容の更新を実施
 「ふくいドットコム」H14稼働、以降随時日本語版、外国語版のページリニューアル等を実施

○課題

「越前・若狭観光情報マップ」の紙媒体としての効果的な発信・提供方法
 「ふくいドットコム」に利用者にとって必要な情報が掲載されているか

○意見を求めたいこと

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、さらなる誘客につながるような
 デザイン、レイアウト案、HP等との連携についてご意見をいただきたい

現状データ

観光マップ配布数 (単位: 万部)	27	28	29	30
県外出向宣伝	4	5	5	4
県内観光地、宿泊施設等	14	16	16	15
観光案内所等	10	11	11	9
営業等	2	2	2	2
合計	30	34	34	30

HPアクセス数 (単位: 万件)	27	28	29	30
総ページ	765	583	510	570
うち日本語版	749	563	489	549
うち外国語版 (英語、中国語、韓国語、ロシア語等)	16	20	21	21

交流文化部観光誘客課

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H 2 7	20,557	20,332
H 2 8	19,817	19,653
H 2 9	18,652	18,479
H 3 0	17,766	16,893
H 3 1	18,850	—



障がい者アスリート競技力向上事業

交流文化部スポーツ課

○事業概要

大会出場・遠征・強化練習費用等の支援

- ・障スポ出場候補団体(個人競技・団体競技) (20～170万円/団体・年)
- ・パラリンピック候補選手 (68万円/人・年 10名)
- ・有望選手 (県内競技団体推薦) (20万円/人・年 4名)

○経緯

H26 「福井しあわせ元気大会」に向けた選手強化を図るため開始

H28 パラリンピック出場候補選手への強化費を拡充

○課題

障がい者アスリートは他の障がい者に夢や希望を与える存在であり、福井国体・障スポ後も継続的な育成・強化が必要であるが、車いすのメンテナンスや同伴ランナー等、障がい者特有の経費が嵩むため経費支援が必要である

○意見を求めたいこと

支援の内容や規模(選手数・支援額)について、ご意見をいただきたい

現状データ

	27	28	29	30	31	合計
障スポ強化選手数(人)	226	270	309	321	274	1,400
パラ候補強化選手数(人)	—	5	7	14	14	40
障スポメダル獲得数(個)	18	16	23	128	台風により中止	185

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H27	8,074	8,074
H28	10,927	10,385
H29	21,902	20,872
H30	23,605	22,371
H31	20,512	—



トップアスリートの練習風景

県民スポーツ祭開催事業

交流文化部スポーツ課

○事業概要

県民に年間を通じて幅広いスポーツ活動の場を提供

- ・総合開会式（+スポーツ体験会）
- ・競技会 市町対抗の部 42種目、交流の部 60種目
高校の部 32種目、中学校の部 17種目、小学生の部 7種目
冬季競技 3種目

○経緯

H17～「県民スポーツ祭」開催（県民体育大会と県スポレク祭の統合）

H30 国体・障スポのため、中・高校の部のみ開催

○課題

福井国体・障スポのレガシーとして、共生社会実現に向け、健常者が中心の県民スポーツ祭において、障がい者スポーツとの融合を図っていく必要がある

○意見を求めたいこと

健常者と障がい者が共に参加し楽しめる県民スポーツ祭のあり方、方策についてご意見をいただきたい（総合開会式と県障害者スポーツ大会の同日開催等）

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H27	15,200	15,200
H28	15,200	15,200
H29	15,200	15,200
H30	7,300	6,194
H31	13,500	—

現状データ

	27	28	29	30	31	合計
総合開会式 参加人数（人）	792	900	1,296	国体のため 未実施	750	3,738
年間参加人数総計（人）	46,011	45,503	51,111	25,185		167,810
競技会への障がい者参加可能 競技数（競技）	0	0	0	0	13	13



県民スポーツ祭総合開会式（選手宣誓）

知事公舎等関連経費

総務部財産活用課

○事業概要

知事公舎等（※1）の維持管理
（機械警備、設備保守、光熱水費、植栽管理、建物設備修繕等）
（※1）知事公舎（538.48㎡）、副知事公舎（208.63㎡）、
秘書課長公舎（103.40㎡）

○経緯

平成6年3月 知事公舎、秘書課長公舎建築
平成7年3月 副知事公舎建築
～平成31年4月（栗田元知事、西川前知事入居）
令和元年8月 一般県民向け見学会を開催（2日間）
（2,465人来場、1,990人アンケート回答）

○課題

- 維持管理経費
入居者不在であっても、年間約6,500千円必要
- 都市計画区域による用途制限
当該区域は、都市計画法による第一種低層住居専用地域（※2）に指定されている
（※2）第一種低層住居専用地域とは、低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するために定める地域であり、原則、地区外の不特定多数が利用する施設は認められない
（例：商業施設、旅館、レストラン、貸館、スポーツ施設、美術館、博物館等は不可）

○意見を求めたいこと

先般実施した知事公舎見学会でのアンケート結果等を踏まえ、知事公舎等の存廃や利活用の方法（売却・貸付等）について、ご意見をいただきたい

	予算額 (千円)	決算額 (千円)
H27	6,123 (一般財源6,123)	6,123 (一般財源6,123)
H28	7,317 (一般財源7,317)	7,317 (一般財源7,317)
H29	8,171 (一般財源8,171)	8,171 (一般財源8,171)
H30	7,082 (一般財源7,082)	7,082 (一般財源7,082)
H31	7,696 (一般財源7,696)	—

